

第10回技術士制度・試験講習会実施報告

技術士資格取得を目指す受験生を対象として「第10回技術士制度・試験講習会」を開催した。参加募集期間としては2ヶ月程度あり昨年よりも少しだけ長い期間募集できたが、今年は昨年10月に予定されていた第一次試験が台風の影響で3月に延期となったことや、新型コロナウイルスの影響のためか参加者は22名であった。また、参加者の約半数がこれから第一次試験を受験しようとする方であった。ただし、講習会の中の全体での質疑応答の場面では非常に活発な質疑応答が行われた。開催にあたりご協力頂いた講師等13名をはじめご協力頂きました皆様に感謝を申し上げますとともに、当日の概要を以下の通り報告する。

日時：令和2年2月15日（土）13:30～17:00
場所：一般社団法人 原子力安全推進協会
第1～3会議室 三田ベルジュビル13階
主催：日本原子力学会、共催：日本保健物理学会
参加受講者：22名（申込者：23名）



写真1 講習会開始

講習内容（総合司会：小林哲朗技術士）

(1) 講習会開催にあたって

主催の日本原子力学会を代表し、教育委員会技術者教育小委員会 芳中一行委員長より「技術士資格取得の勧め、原子力学会における技術士制度への期待、試験制度の改正について」お話し頂いた。その中で技術士に原子力・放射線部門が追加された経緯、原子力業界において技術者倫理、応用力を備えた技術者育成の必要性についてお話し頂いた。また、技術士試験制度の改正の話から世の中の直面する課題について答えを出すことが技術士に求められていることであり、そういった人財が増えることで原子力業界全体が良くなっていくことへ期待があり、そのためにも技術士を目指し、是非頑張ってもらいたいというお言葉を頂いた。

また、共催の日本保健物理学会を代表し、橋本周理事より「技術士資格取得の勧め、保健物理学会における技術士制度への期待」についてお話し頂いた。その中で「放射線安全」に関する話があり、その「放射線安全」に精通する人財の育成が、日本保健物理学会としても大きなミッションになっている。技術士が、まさに日本保健物理学会の求めている人財像であり、技術士資格の取得を目指してもらいたいということでエールを頂いた。



写真2 講習会開催挨拶(芳中委員長)



写真3 講習会開催挨拶(橋本理事)

(2) 技術士制度・試験の紹介：前川立行技術士

前川技術士から技術士及びその試験制度についての説明、第一次試験、第二次試験に対する考え方などをお話し頂いた。また、技術者倫理についての重要性、コンピテンシーに関する考え方やご自身での実践に関してのお話もいただいた。



写真 4 技術士制度・試験の紹介
(前川技術士)

(3) 試験の傾向と対策：八木理技術士

八木技術士から過去3年の第一次試験及び第二次試験の問題を分析頂き、その出題傾向についてご自身としての見解をご説明頂いた。また、第一次試験及び第二次試験における試験対策や試験に対するテクニック、ご自身が実践された勉強方法などもお話し頂いた。



写真 5 試験の傾向と対策
(八木技術士)

(4) 技術士試験への心構え・体験談：石川寛匡技術士、内海正文技術士

石川技術士、内海技術士の両名からはそれぞれ、技術士資格に関する考え、受験動機やご自身の経験に基づく第一次、第二次試験の勉強方法や試験時の注意点や心構えなどが紹介された。また、コンピテンシーを踏まえた対応について、日頃の業務中で意識し実行することでそれが試験対策となるということもお話し頂いた。



写真 6 技術士試験への心構え・体験談
(石川技術士)



写真 7 技術士試験への心構え・体験談
(内海技術士)

(5) 全体質問：(各講師)

受講者から試験勉強において絶対に読むべき書籍は何か、試験における論述に関する解答の仕方、論述作成におけるテクニックといった受験対策や試験に関する質疑、技術士資格とはどんなものと説明するか、取得し良かったことは何か、技術士として守り抜いたことはあるかといった技術士資格やその資質に関するような質疑などがあり、各講師より回答して頂いた。



写真 8 全体質問 (全体)



写真 9 全体質問 (講師陣)

(6) 閉会挨拶：溝口真樹技術士

閉会の挨拶をすると共に技術士試験は長丁場の試験であるのでモチベーションの維持が重要と考えている。ただし、試験に合格して終わりではなくその後の勉強も必要。本講習会を活用し、是非頑張ってもらいたいという話をし、技術士を代表して受講者へエールを送った。続いて、閉会後の個別質問・相談コーナーの説明を行った。



写真 10 閉会挨拶 (溝口技術士)

(7) 個別質問、相談コーナー

各講師に加え、河野繁宏技術士、小林哲朗技術士、吉田誠技術士、高橋優也技術士、竹内知輝技術士、川上尚志技術士、菊澤信宏技術士、溝口真樹技術士が担当した。概要質問、選択科目（原子炉システム・施設、核燃料サイクル及び放射性廃棄物の処理・処分、放射線防護及び利用）の4つのブースに別れ、個別の質疑応答を行った。今年は第一次試験を受験しようとする方が多かったせいか、利用されたのは全体の半数程度であった。ただし、少人数であったが、例年にも増して非常に熱心な質疑応答が行われた。



写真 11 質問、相談コーナー(1)



写真 12 質問、相談コーナー(2)



写真 13 質問、相談コーナー(3)

- ※ (1) 原子炉システム・施設ブース
- (2) 核燃料サイクル及び放射性廃棄物の処理・処分ブース
- (3) 放射線防護及び利用ブース

各ブースでの主な質問は以下の通りであった。

- ・原子力・放射線部門を受験するにあたっての対策について
(他部門の技術士資格を取得している方の質問)
- ・原子力・放射線部門の技術士会について
(会員数、関係イベント参加率等)
- ・技術士制度の活用について
- ・他関係団体とのコラボレーション等について
- ・技術士になってからの変化について
(安全性や技術者倫理に対する考え方、役立ったことは)
- ・継続研鑽について
- ・勉強を続けるためのモチベーション及びその維持方法について
- ・技術士試験制度及び受験方法について
- ・選択科目の選定方法について
- ・業務経歴票の書き方について
(業務経歴及び業務内容)
- ・第二次試験の勉強方法
(役立った資料や文献、キーワードリスト等) について
- ・時事問題に対する考え方について
- ・記述試験時における解答方法について
(フロー図中の文字に対する考え、論理展開のコツ)
- ・口頭試験について (試験日、服装、試験官)
- ・試験日の変更について (新型コロナウイルス感染時の対応)
- ・勉強時間の作り方について

(8) 謝辞

会場を提供して頂いた原子力安全推進協会様をはじめ、休日にもかかわらずボランティアでご協力いただいた各技術士の皆様方に感謝、御礼申し上げます。

以上